

# 令和5年第2回教育委員会会議記録

令和5年2月27日（月）

## ◎議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指名  
日程第 2 議案第1号 令和5年度八雲町教育行政執行方針について  
日程第 3 議案第2号 令和5年度教育費予算の意見聴取について  
日程第 4 その他

## ◎出席者

教育長	土 井 寿 彦
委 員	松 永 正 実
委 員	羽 田 圭 吾
委 員	福 田 浩 子

## ◎欠席者

委 員	神 原 伸 哉
-----	---------

## ◎出席した説明者

学校教育課長兼	
学校給食センター所長	三 坂 亮 司
学校教育課参事	小 林 卓 也
学校教育課長補佐	松 浦 真理子
社会教育課長	佐 藤 真理子
社会教育課長補佐	長谷川 聡 司
社会教育課文化財係長	大 谷 茂 之
図書館管理係長	笹 田 幸 男
体育課長	伊 藤 勝
体育課管理係長	菊 地 恵梨花
熊石教育事務所長	野 口 義 人

【開会 午後3時00分】

### ◎開会・開会宣言

○教育長 本日、第2回教育委員会会議を招集いたしました。出席ご苦労様です。

本日の出席者は4名です。定足数の出席を認めます。よって、令和5年第2回八雲町教育委員会会議を開会いたします。

本日の会議日程は、お手元に配布のとおりです。それでは、直ちに本日の会議を開きます。

### ◎日程第1 会議録署名委員の指名

○教育長 日程第1 会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員に、羽田圭吾委員を指名いたします。

### ◎日程第2 議案第1号

○教育長 日程第2 議案第1号「令和5年度八雲町教育行政執行方針について」を議題といたします。別冊の教育行政執行方針について、私から説明します。

「第2期八雲町教育推進計画」の後期初年度となる令和5年度は、子どもたち一人一人の「自立」「協働」「創造」の育成を目指し、誰一人取り残すことのない学びの実現を一步一步進めるとともに、八雲町の教育理念の具現化を図ってまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、国の方針を受け、学校や関係機関、保護者などと連携し、適切に対応してまいります。

こうした考えの下、令和5年度の教育行政の重点施策について、学校教育から申し上げます。

まず、今日の学校に求められている、子どもたちの「生きる力」を確実に育てていくために、「カリキュラム・マネジメントによる学習効果の最大化」を図ることができるよう支援するとともに、「社会に開かれた教育課程」を実現してまいります。

これからの社会の創り手として、必要となる資質・能力を確実に身に付け活用できるよう、「読解力」を育む視点で、すべての小・中学校における共通の実践事項である「八雲スタイル」を確立し、授業改善を推進します。

さらには、一人一台の学習用端末をより効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に展開するとともに、中学校において生徒自らの興味・関心に基づく創意工夫を生かした探求的な学習に取り組みます。

また、不登校児童生徒への学習支援と学校復帰への意欲の向上に向けた活用など、子どもたち一人一人の学びを保障してまいります。

次に、八雲町における「小中一貫型コミュニティ・スクール」の取組は、6年目を迎え、学校運営協議会を中核に据え、地域・保護者はもとより中学生、高校生とも一体となった教育活動やキャリア教育を支援する活動が展開されてきています。

小中一貫教育は、各中学校区内で目指す15歳の姿を共有し、小学校と中学校において、系統性・連続性を踏まえた学習指導を一層図ってまいります。

次に、子どもたちが、社会の一員として生きていくためには、健やかな心身の成長が極

めて大切であり、適切な教育環境を整えることが重要になります。

特に、小学校低学年は、義務教育期間の基盤となることから、八雲町独自に八雲小学校第1、第2学年において、25人編成の少人数学級の導入に取り組みます。

「いじめ」や「不登校」などの問題については、新たにピア・サポート事業を導入し、子どもたちの助け合いや支え合いの気持ちを高め、自己有用感など子どもたちの心身の健全な育成を推進してまいります。

特別支援教育においては、特別支援教育支援員や看護師の配置のほか、発達障がい等の児童生徒の進級・進学に向けた支援に努めてまいります。

就学援助や奨学金の貸付事業、後継者に対する養成奨学金の助成を引き続き実施してまいります。

学校給食においては、地元食材を積極的に活用するとともに、食物アレルギー食を検討するほか、学校給食費無償化を引き続き実施してまいります。

次に、児童生徒の安全確保については、危機管理マニュアルの点検・見直しや防犯・防災教室などの取組を計画的に実施し、適切な行動ができるよう備えてまいります。

学校の施設・設備については、令和4年度に引き続き、八雲中学校校舎棟の大規模改修工事を実施するとともに、普通教室へのエアコン設置など、整備計画の策定に取り組んでまいります。

次に、社会教育について申し上げます。

町民が心豊かに充実した日々を過ごすためには、生涯を通じて主体的に学び、その成果を活かすことができる社会の実現を図ることが極めて重要であります。

このため、各種講座や社会教育団体と連携した様々な事業を推進するとともに、八雲山車行列、八雲さむいべや祭りなど支援してまいります。

八雲町の文化財については適切に保存し、各種講座の開催や情報発信に努めるとともに、令和6年に八雲の木彫り熊が誕生100周年を迎えることから、町民の記憶に残る事業の開催に向けた準備に取り組んでまいります。

公民館などの社会教育関係施設については、役場庁舎等建設基本計画に基づいて検討を進めてまいります。

図書館については、適切な資料収集と町民サービスの提供に努めるとともに、「第二次子どもの読書活動推進計画」に基づき、読書に親しむ機会の充実を図るほか、ボランティアの方々による事業の企画・運営に支援してまいります。

八雲町のスポーツ振興は、スポーツ協会、スポーツ少年団本部などの関係団体の献身的な活動によって支えられており、今後も、スポーツ活動を通してあたたかく活気あふれる町づくりにつなげていくことが重要であります。

コロナ禍にあっても、八雲町出身のアスリートや学生をはじめ、町内の子どもたちが各種大会で優秀な成績を収め、町民に感動と勇気を与えてくれました。

一方、学校部活動においては、国が学校部活動の地域移行を進めることとしており、教育委員会としては、地域の実情を踏まえながら、持続可能な活動の体制づくりに向け、その方向性等について協議できる場を設けるなど、想定される多くの課題に向き合い、着実にその歩みを進めてまいります。

八雲町教育委員会としては、ふるさとに誇りをもち、これからの社会を担う人材の育成

や地域づくりの基盤は教育にあるとの信念の下、学校・家庭・地域・行政が一丸となって、「渡島の教育は二海から」のスローガンの具現化に向けて、八雲町の教育の充実・発展に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

このように案を作成しております。

説明は、以上でございます。何か質問はございませんか。

○松永委員 非常に分かりやすく、要点がまとめられていると思いました。

○教育長 新しい施策を分かりやすく記載させていただいております。

他にございませんか。

(「なし」という声あり)

○教育長 無ければ、議案第1号を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○教育長 ご異議がございませんので、議案第1号は原案のとおり可決いたしました。

### ◎日程第3 議案第2号

○教育長 日程第3 議案第2号「令和5年度教育費予算の意見聴取について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○学校教育課長 議案第2号令和5年度教育費予算の意見聴取について説明いたします。議案書2ページをお開き願います

令和5年度の教育費予算については、昨年12月6日開催の令和4年第10回教育委員会会議におきまして、予算要求案の概要を説明しご協議いただきましたが、過日、査定結果が内示されましたので、内示どおり予算議案を作成することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、八雲町長から意見が求められましたので、意見なしとする。というものであります。

それでは、査定により変更となった主な部分について、ご説明をいたします。

なお、3ページの教育費予算査定の概要について私から説明し、4ページ以降の当初二次予算については、各担当から説明いたします。

3ページの最下段「合計」の欄の査定額の合計につきまして、八雲地域の当初一次、経常経費が5億5千991万3千円、その右側の欄、同じく八雲地域の当初二次、施策経費は9億45万1千円で八雲地域の合計が、14億6千36万4千円となっております。

同じく合計欄の熊石地域につきましては、当初一次は、3千286万4千円、当初二次は、9千876万2千円で、熊石地域の合計は1億3千162万6千円となっております。

八雲地域・熊石地域を合わせた令和5年度の教育費当初予算の総額は、15億9千199万円であり、要求額の合計16億6千321万7千円に対し、7千122万7千円の減額査定となっております。

この減額については、後程ご説明いたしますが、社会教育課関係費八雲地域当初二次、アイヌ文化財保存活用事業が当初予算ではなく、国の補助採択後に補正予算で対応することとしたことが、大きな減額の要因となっております。

なお、令和4年度の当初予算額の合計は6億6千114万4千円でありましたので、4年度との比較では9億3千84万6千円の増であり、大幅増となった主な要因は、八雲中学校大規模改修事業について、令和4年度は補助採択後の補正予算対応としておりました

が、工事2年目は当初予算に計上したことによります。

当初二次の査定内容につきましては、4ページ以降で改めて説明をいたしますので、当初一次の主な査定内容の増減についてご説明いたします。

最初に学校教育関係でございますが、一番上の欄、教育総務費で八雲地域の47万2千円の減額は、新規要求した旅費について現行予算で対応する査定を受けたほか、車両整備費用の査定減があったことが、主な要因であります。

また、熊石地域は11万9千円の減額で、教員住宅の敷地境界用土留めブロック設置に伴う作業用機械等借上料の査定減が主な要因であります。

小学校費は、八雲地域で101万5千円の増額で、電気料金値上げに対応した査定増となっております。

また、熊石地域は11万8千円の減額で、熊石小学校電気料の増額があったものの、スクールバス車輛整備費等の査定減が主な要因であります。

中学校費の八雲地域49万9千円の増額は、小学校費同様に、電気料金値上げに対応した査定増です。

熊石地域8万9千3千円の減額は、熊石中学校電気料について、予算積算の見直しに伴う減額や小学校費と同様にスクールバス車輛整備費等の査定減が主な要因であります。

次に、社会教育関係につきまして、八雲地域の社会教育関係費で23万2千円の減額は、電気料金値上げに対応した増額があったものの、各施設管理人の報酬や社会保険料の査定減の減が主な要因であります。

熊石地域の社会教育関係費は、19万5千円の増額で、熊石歴史記念館管理費の電気料金値上げに対応した査定増です。

図書館関係費、40万1千円の減額は、電気料の値上げはあったものの、施設修繕及び図書購入費の査定減が主な要因であります。

次に、保健体育関係の体育関係費につきまして、八雲地域31万円の減額は、各施設の電気料値上げや燃料費で増額があったものの、フィットネス教室講師派遣手数料及びスキー場圧雪業務委託料の査定減が主な要因であります。

また、熊石地域の保健体育関係費については、6万4千円増で、ひらたないスキー場管理費の電気料値上げに対応した査定増となっております。

給食センター関係費の八雲地域103万5千円の減額は、センター電気料積算の見直しによる査定減が主な要因であります。

これらのことから、当初一次経常経費全体で180万7千円の減額査定で、予算額5億9千277万7千円となっております。

次に、4ページからの別紙、施策経費である当初二次予算について、学校教育課に係る部分について説明をいたします。

要求額に対して査定額が変わった事業のみご説明いたします。

4ページナンバー2、外国語指導助手配置事業は、旅費規程の改定に伴い、5万3千円が増額査定されたものです。

5ページナンバー9、小牧市・八雲町児童学習交流事業については、20万3千円の減額査定で、これまでの交流方法を一部変更し、冬季間に八雲町から小牧市への派遣を中学生へ変更するとともに、教育委員会職員が引率することとしたことによるものです。

6 ページナンバー 16、スクールバス購入事業は、入札による減額を想定し、60万8千円の減額査定となっております。

その他の事業については、要求どおりの査定であり、学校教育課当初二次予算の査定額合計は、24件であり、8億3千61万5千円で、75万8千円の減額査定となっております。学校教育課関係分は以上です。

○社会教育課長補佐 続きまして、社会教育課が所管する事業につきまして、主な部分を抜粋のうえご説明いたします。9ページをご覧ください。

ナンバー3、八雲山車行列開催事業につきましては、要求額450万円に対しまして、査定額は300万円となっております。

当該事業は、令和5年7月に開催予定の第39回八雲山車行列の実施主体である同実行委員会への補助金となっており、収入の面では、町民カンパ等が減少することが見込まれるほか、支出の面では、山車を安全に運行するための交通誘導員等を増員するために、例年よりも増額したうえでの予算要求としたところでしたが、今後、団体に対しましては、収入確保のさらなる工夫に努めていただくほか、支出経費の見直しを図っていただくものとしたうえで、前年度245万円との対比においては、55万円増額での査定となっております。

続いて、10ページをお開きください。

ナンバー8、アイヌ文化財保存活用事業につきましては、要求額6千706万9千円に対しまして、査定額はゼロ円となっております。

当該事業につきましては、町内に存在するアイヌ関連の石碑のうち、特に重要な石碑2件の保護のほか、アイヌ関連スポット10箇所の説明看板や、鳥観図の設置などにより、アイヌと移住者たちの関わりの歴史を広く伝えようとするものであり、令和5年度中に国のアイヌ政策推進交付金の事業採択を受け次第、補正予算として要求する予定となっておりますことから、令和5年度の当初予算としては、ゼロ円となっているところです。

以上、社会教育課が所管する当初二次歳出予算は、10件8千352万8千円の要求に対して、査定額1千491万4千円となりました。

よろしく願いいたします。

○図書館管理係長 11ページとなります。

図書館関係1件でございます。説明にありますように、業務用コピー複合機更新事業、査定額につきましては、当初要求と同額で所要額126万5千円の計上となります。

○体育課長 次に、体育課所管分の令和5年度当初二次予算について、査定減のあったものについてご説明いたします。

資料12ページとなります。

ナンバー4、総合体育館費総合体育館備品購入事業193万円は、総合体育館駐車場用除雪機購入費用及び損傷の激しい卓球台4台の更新に係る費用で、卓球台の購入金額が当初要求から4万8千円減額されています。

以上、体育課所管の二次予算は、ソフト事業2件、施設整備関係事業3件、合計5つの事業を要求し、軽微な査定はありましたが、合計5千300万1千円となりましたので、よろしく願いいたします。

○学校給食センター長 13ページ、学校給食センターの当初二次については、要求どお

りの査定であり、65万6千円となっております。

○熊石教育事務所長 続きまして議案書最終14ページの熊石教育事務所所管分でございますが、3件の事業全て要求どおり査定を受けましたので熊石教育事務所所管分3事業合計で9千876万2千円の査定額です。

以上、議案第2号令和5年度教育費予算の意見聴取についての説明とさせていただきます。

よろしくお願いたします。

○教育長 事務局の説明が終わりました。何か質問ございませんか。

○羽田委員 4ページのナンバー4ピア・サポート実践事業ですが、この事業の説明欄に書かれているようなプログラムを学校のカリキュラムの中の授業で、やっていくということでしょうか。実際に子どもたちにどのような形で進めていくのでしょうか。

○学校教育課長補佐 こちらの事業につきましては、今年度から新たに行う事業になります。令和5年度は野田生中学校区を中心に実施しますが、学校の授業に組み込みスタートする学校と教員の研修から実施する学校があります。予定では6校からスタートしますが、小規模校については、学校ごとの他に、複数校が集合して実施する場面も出てくると考えています。

また、小学校と高校が連携した取組も考えています。

具体的には、総合学習の時間や特別活動の授業などに組入れて実施する予定です。

○教育長 よろしいでしょうか。他にございませんか。

○福田委員 3ページの図書館関係費ですが、八雲地域の当初一次経費が40万1千円減額になっていますが、先ほどの説明では、電気料金などの増額はあるものの図書購入費などが減額になったということでしたが、その内容をもう少し詳しく説明願います。

○図書館管理係長 先程の説明で電気料と図書購入費の相殺として40万1千円減と説明がありましたが、機器改修費の一部、空調関係の改修で見合わせとなった数十万の査定減も含まれており、併せての相殺減となっております。

○福田委員 そうすると、図書購入費の減額はどのくらいになるのでしょうか。

○図書館管理係長 図書購入費査定減額は7万5千円となっております。

○教育長 よろしいでしょうか。他にございませんか。

○松永委員 学校教育課のナンバー9小牧市・八雲町児童学習交流事業につきまして、ずっと小学生だったと思うのですが、令和5年度からは、中学生を派遣するという事なのではないでしょうか。

○学校教育課長 令和5年度からこの事業は再開できる予定ですが、この間小牧市とも協議を重ねてまいりましたが、八雲から小牧市に派遣するメンバーにつきましては、今回から中学生としてより学習効果を高めたいということで準備を進めているところです。

○松永委員 中学生を派遣することで減額になるということでしょうか。

○学校教育課長 今までは、学校の先生方をお願いをし、実行委員会を立ち上げて小牧交流を進めていましたが、教員の働き方改革も踏まえ、教育委員会の主催事業として開催し、教育委員会職員が引率するような形で、事業を進めたいと考えております。

○教育長 政策予算になりますので、小牧市から交流の方法について回答を待っているところですが、先ほど学校教育課長も説明しましたが、小学生では、小牧市に行ってから

内容が充実せず、ホームステイではないのでどうしても視察型になってしまうということもありまして、そうなると中学生の方がより学習効果があると考えています。

○福田委員 小牧市から八雲町に派遣されてくるのは小学生でしょうか。

○教育長 小牧市からは小学生の受入れを希望されています。こちらから小牧市に小学生を派遣しても交流の場面が少なく、視察型になってしまうので、そういうことであれば中学生を派遣する方が身になるだろうという判断をしました。

小牧市から来る小学生は、八雲の自然の中でアクティブな活動になるので、過去の人数規模で受け入れてほしいということです。

よろしいでしょうか。他に質問はありませんか。

(「なし」という声あり)

○教育長 無ければ、議案第2号を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○教育長 ご異議がございませんので、議案第2号は原案のとおり可決いたしました。

#### ◎日程第4 その他

○教育長 日程第4 その他ですが、事務局から何かありますか。

(「なし」という声あり)

#### ◎閉会の宣言

○教育長 無いようですので、本日の会議に提出した議案等の審議はすべて終了いたしました。これをもちまして、令和5年第2回教育委員会会議を閉会いたします。大変お疲れ様でした。

【閉会 午後3時35分】